E 付録

初期設定一覧

機能	パラメーター	初期値
Internet(3G/HSPA)	Internet(3G/HSPA)接続	使用する
	3G/HSPAモデム	GP03 内蔵3G/HSPAモデム (変更不可)
	契約事業者	イー・モバイル
	接続方式	プロトコル制限なし
	PDP Type	IP(変更不可)
	APN(接続先)	emb.ne.jp
	PIN	空欄
	ユーザー名	em
	パスワード	em
	国際ローミング	海外の携帯事業者ネットワークに接続しない
	認証方式	自動認証
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	空欄
	MTU値	1500バイト
Internet(無線LAN)	Internet接続(無線LAN)	使用する
	無線LAN-3G/HSPA切り替えモード	標準モード (3G/HSPAが無通信時、無線LANへ接続：5秒間)
	登録無線LANプロファイル	BB MOBILEPOINT 1 BB MOBILEPOINT 2 livedoor Wireless Mobinect

機能	パラメーター	初期値
Internet(有線ポート)	有線ポート	未接続
	接続モード	ルーターモード
	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
	デフォルトゲートウェイ	空欄
	DNS(ネーム)サーバー アドレス	空欄
	Internet側MACアドレス	デフォルトのMACアドレスを使用
	Internet側MTU値	1500バイト
PPPoE(有線ポート)	デフォルトの接続先	未登録
	PPPoE接続先リスト	未登録
	接続先経路の表示	未登録
DDNS	ダイナミックDNS機能	使用しない
LAN	LAN側IPアドレス	192.168.13.1 (255.255.255.0)
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.13.2から64台 (除外IP アドレス: なし)
	拡張設定	表示しない
	リース期間	48時間
	デフォルトゲートウェイの通知	GP03のLAN側IPアドレス
	DNSサーバーの通知	GP03のLAN側IPアドレス
	WINSサーバーの通知	通知しない
	ドメイン名の通知	取得済みのドメイン名
DHCPリース	リース情報	なし
アドレス変換	アドレス変換	使用する
	破棄パケットのログ出力	出力しない
経路情報	経路情報	未登録
WPS	WPS機能	使用しない

機能	パラメーター	初期値
AOSS	WEP専用SSIDの暗号化レベル	AOSSが設定されていないため、変更不可
	暗号化レベル拡張機能	有効
	WEP専用SSID隔離	無効
	WEPをゲーム専用にする	使用しない
	本体側AOSSボタン	使用する
	Internet側の親機とAOSS接続する	使用する
基本(11n/g/b)	無線機能	使用する
	無線チャンネル	Auto(1-11ch)
	倍速モード	帯域：20MHz 拡張チャンネル：ー
	SSIDステルス	無効にする
	マルチセキュリティー	使用しない
	隔離機能	使用しない
	SSID	GP03のMACアドレスを設定
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	WEP
	WEP暗号化キー設定	文字入力・5文字(WEP64) 本製品の無線LAN初期設定シールに記載されている5桁の値
拡張(11n/g/b)	Multicast Rate	自動
	DTIM Period	1
	プライバシーセパレーター	使用する
	送信出力	Auto

機能	パラメーター	初期値	
WMM(11n/g/b)	WMM-EDCAパラメーター	優先度	パラメーター
		AC_BK(低い)	CWmin : 15 CWmax : 1023 AIFSN : 7 TXOP Limit : 0
		AC_BE(通常)	CWmin : 15 CWmax : 1023 AIFSN : 3 TXOP Limit : 0
		AC_VI(優先)	CWmin : 7 CWmax : 15 AIFSN : 2 TXOP Limit : 94
		AC_VO(最優先)	CWmin : 3 CWmax : 7 AIFSN : 2 TXOP Limit : 47
MACアクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない	
	登録リスト	未登録	
マルチキャスト制御	Snooping機能	使用する	
	マルチキャストAging Time	300秒	
ファイアウォール	ログ出力	使用しない	
	簡易ルール	「Internet側からのIdent要求を拒否する」と「Internet側からのPingに応答しない」が有効	
IPフィルター	ログ出力	使用しない	
	IPフィルター登録情報	未登録	
VPNパススルー	フレッツIPv6サービス対応機能(IPv6ブリッジ)	使用しない	
	PPTPパススルー	使用する	
ポート変換	ポート変換登録情報	未登録	
DMZ	DMZのアドレス	未登録	
UPnP	UPnP機能	使用する	

機能	パラメーター	初期値
本体	機器名	AP + 本製品のLAN側MACアドレス
	USBストレージ機能	マニュアル・ユーティリティー インストーラー
	NASストレージ機能	ファイル共有機能: 使用しない ワークグループ名: WORKGROUP FATフォーマットファイル名 文字コード: 日本語 ShiftJIS(CP932)
パスワード	管理ユーザー名	admin(変更不可)
	管理パスワード	本製品の無線LAN初期設定シールに記載されているWEP key(5桁の値)
	コンテンツ・アクセス認証	アクセス制限しない(パスワードなし)
省電力	Internet停止	10分後
	自動スリープ	10分後
	自動パワーオフ	しない
SIMカード	PIN認証	未設定
時刻	日付	2011年1月1日
	時刻	0時00分00秒
	タイムゾーン	(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル
NTP	NTP機能	使用する
	サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	すべて無効

機能	パラメーター	初期値
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	syslogサーバー	空欄
	転送するログの種類	アドレス変換、IPフィルター、ファイアウォール、PPPクライアント、3G(HSPA)、INT、ダイナミックDNS、DHCPクライアント、DHCPサーバー、AOSS、無線、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク、STORAGE、システム

用語集

3G

第３世代の携帯電話方式の総称です。従来の第２世代携帯電話方式と比較して高速なデータ通信が可能となっており、高品質な通話や動画の配信などにも利用されています。

AES

IEEE802.11iで策定されている次世代暗号化方式です。「WEP」脆弱性の原因は、採用している暗号方式(RC4暗号)自体に解読手法が存在するためです。「TKIP」にて脆弱性の改善はされていますが、暗号方式自体を抜本的に見直したものが「AES」です。

AOSS

AOSS(AirStation One-Touch Secure System)は、バッファロー社が開発した無線LANの接続や暗号化など各種セキュリティー設定を簡単に行うためのシステムです。機器に搭載されたボタンを押すことで、自動的に接続・セキュリティー設定を行うことができます。

DHCPサーバー

DHCPサーバーはネットワークに関連した情報(IPアドレス、ルーターのIPアドレス、ドメイン名など)を管理します。DHCPクライアントが起動すると、自動的にIPアドレスなどの情報を割り振ります。DHCPサーバーがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや無線親機に、IPアドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

DNS

コンピューター名やドメイン名を、それぞれに対応したIPアドレスに変換するシステムです。

HSPA

第３世代携帯電話方式(3G)の規格であるW-CDMAを拡張して、さらに高速化した規格です。下り方向を高速化したHSDPA、上り方向を高速化したHSUPA を組み合わせた規格で、従来の５倍以上の通信速度を実現します。

MACアドレス

ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。先頭からの3bytesのベンダーコード（メーカーのID）と、残り3bytesのユーザーコードの6bytes で構成されます。Ethernetではこのアドレスを元にフレームの送受信を行います。

SSID

無線LAN端末と無線親機の通信時に混線しないために設定するIDです。無線LAN端末が無線親機と通信するときは、同一のSSIDを設定します。

TKIP

無線のデータ暗号化方式であるWPAに用いられている暗号化プロトコルです。従来の暗号化方式である「WEP」にあった同じ暗号化キーを使いつづけるため発生する脆弱性を克服するため、キーを自動的に変更し、暗号化を行うように改良された暗号化プロトコルが「TKIP」です。定期的に使用する暗号化キーを変更するため、キーの解析が困難となり、より強固なセキュリティーを持った無線LANを構築することが可能です。

WEP

無線LANの規格である802.11に追加されたデータを暗号化する機能です。WEP（暗号化）キーに64ビット長のデータを使う方式と128ビット長のデータを使う方式の２つがあります。このWEP（暗号化）キーを元に送受信データを暗号化します。万一、第三者に電波を傍受されても、暗号化されたデータの解読は困難です。ビット数の値が大きいほど（64bit ＜ 128bit）暗号が複雑化し、セキュリティー度が向上します。無線親機にWEP設定を行なうと、同じWEPキーを設定した無線LAN端末からしか接続ができなくなります。

WPA

無線LANの暗号化方式のひとつで、従来採用されてきたWEPの弱点を補強し、セキュリティー強度を向上させたものです。従来のSSIDとWEPキーのセキュリティーに加え、Pre-Sheared Key（PSK）や、PPP Extensible Authentication Protocol（EAP）などを用いて認証を行い、無線親機から配布される暗号化キーで接続させます。また、認証によって配布された暗号化キーを一定時間で自動更新することで、安全性を向上させています。暗号化についても「TKIP」と呼ばれる暗号プロトコルを採用するなど改善が加えられています。

WPA2

WPAが、セキュリティー標準規格「IEEE802.11i」に採用予定であった暗号化の一部から作成されているのに対して、WPA2では正式に策定された「IEEE802.11i」に基づいて作成されています。従来のWPAでは、暗号プロトコルに「TKIP」を採用していましたが、より強力な暗号化技術である「AES」をサポートすることでセキュリティー強度を従来より向上させています。

WPS

WPS（Wi-Fi Protected Setup）は、無線LANの普及推進団体であるWi-Fi Allianceによって策定された、無線LANの接続や暗号化など各種セキュリティー設定を簡単に行うための規格です。機器に搭載されたボタンを押すことで接続設定を行うプッシュボタン式と、機器固有情報を相手側機器に登録することで接続設定を行うPINコード式があり、自動的に接続・セキュリティー設定を行うことができます。

グローバルIP アドレス

インターネットに直接接続でき、インターネット上では重複しないIPアドレスです。

ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットがLANの外に出て行くときに通過します。

サブネットマスク

IPアドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルーターがパケットを送受信するために用いられます。

ダイナミックDNS

動的に変化するIPアドレスに対して、一意のドメイン名を提供し、提供したドメイン名とIPアドレスの関連付けを行うサービスです。これにより、IPアドレスが変化してもドメイン名を使ってInternet側からアクセスすることが可能となります。

ドメイン名

インターネットに接続するコンピューターはIPアドレスと呼ばれる数字を使って識別されていますが、ドメイン名は数字よりも簡単に覚えられるようにと考えられた文字で表現された名前です。

パケット

ネットワーク上を流れるデータの単位です。ヘッダー（宛先アドレスや送信元アドレス）と情報データ（実データ）から構成されます。

パケットフィルタリング

通信セキュリティー機能の一つで、パケットの宛先アドレスや送信元アドレスを読み取り、ユーザーが設定したルールに従ってパケットの通過・遮断を判断します。

プライバシーセパレーター

プライバシーセパレーターは、1台の無線親機に直接無線LAN接続している機器間の通信（共有フォルダーへのアクセスなど）を禁止するセキュリティー機能です。

プライベートIPアドレス

インターネットに直接接続せず、閉じたネットワーク内同士であれば、重複して自由に使用することができるIPアドレスです。プライベートIPアドレスには、次のような種類があります。

クラスA：10.xxx.xxx.xxx/255.0.0.0
クラスB：172.16.0.0 ～ 172.31.255.255/255.255.0.0
クラスC：192.168.xxx.xxx/255.255.255.0

お問い合わせ先

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から：157（無料）
一般電話から：0120-736-157（無料）

※他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。
※間違い電話が多くなっております。番号をよくお確かめの上、おかけください。
※一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。

海外から：+81-3-6831-3333（有料）
受付時間 9:00～21:00（日本時間/年中無休）
ホームページ http://emobile.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう

本製品を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

◎こんな場合は必ず本製品の電源を切りましょう。

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本製品や接続しているパソコンなどの電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず本製品や接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■運転中の場合

運転中の本製品を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本製品を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

発売元：イー・アクセス株式会社
（製造元：株式会社バッファロー）
発行年月：2012年2月　第2版

35012367-02